

ハリス世界株ファンド (資産成長型)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第5期(決算日2023年3月9日)

作成対象期間(2022年3月10日～2023年3月9日)

第5期末(2023年3月9日)	
基準価額	15,346円
純資産総額	326百万円
第5期	
騰落率	21.3%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハリス世界株ファンド(資産成長型)」は、このたび、第5期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の株式のうち、時価総額の大きな銘柄にグローバルな視点で投資し、値上がり利益の獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行いました。バリュー株投資で評価の高い米ハリス・アソシエイツ社に運用を委託しています。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも、一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

東京都杉並区和泉一丁目22番19号

<お問い合わせ先>

ホームページ：<https://www.alamco.co.jp/>

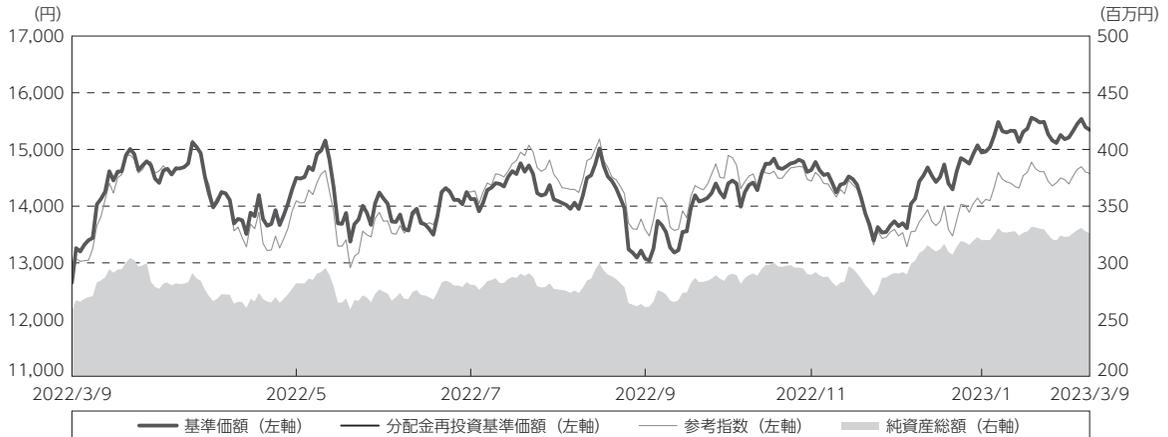
フリーダイヤル：0120-283-104

〔受付時間〕 営業日の午前9時～午後5時

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年3月10日～2023年3月9日)



期首：12,652円

期末：15,346円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：21.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 参考指数は、MSCI KOKUSAIインデックス(米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

○基準価額の主な変動要因

主な上昇要因としては、市場予想を上回る企業決算の発表や、円がドルやユーロに対して円安となったことなどが挙げられます。

主な下落要因としては、インフレ指標が高い伸びを示したことや、FRB(米連邦準備理事会)による金融引き締めの加速などが挙げられます。

1万口当たりの費用明細

(2022年3月10日~2023年3月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	236 (157) (71) (8)	1.650 (1.100) (0.495) (0.055)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.024 (0.024)	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.015 (0.015)	(c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	7 (6) (2) (0)	0.052 (0.040) (0.011) (0.001)	(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用です。 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用です。 信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	248	1.741	
期中の平均基準価額は、14,311円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

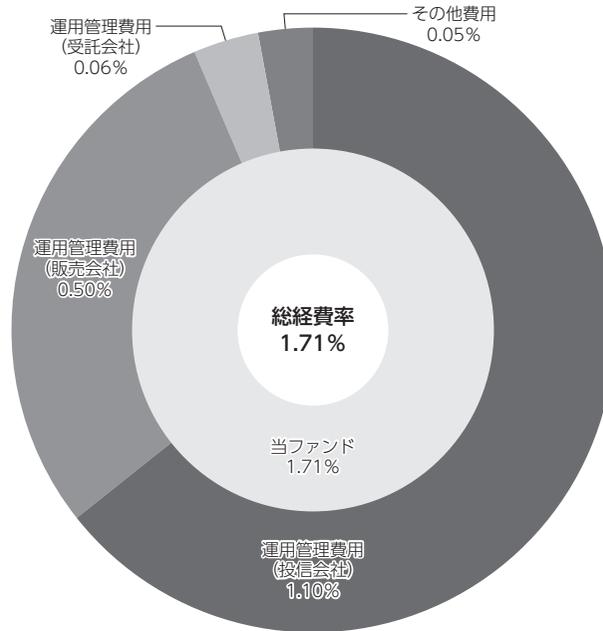
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.71%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

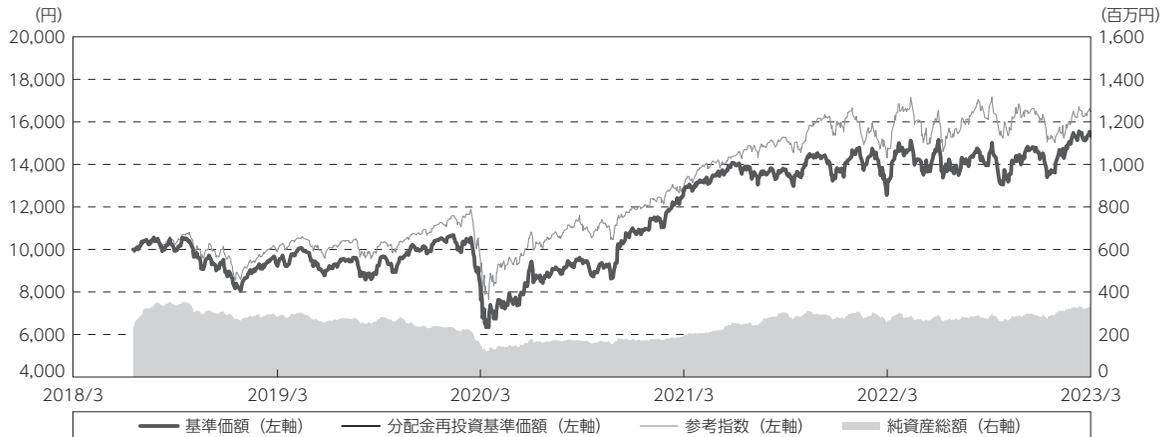
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年3月9日～2023年3月9日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2018年6月26日です。
 (注) 参考指数は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018年6月26日 設定日	2019年3月11日 決算日	2020年3月9日 決算日	2021年3月9日 決算日	2022年3月9日 決算日	2023年3月9日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,217	8,257	12,824	12,652	15,346
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.8	△ 10.4	55.3	△ 1.3	21.3
参考指数騰落率 (%)	—	△ 1.2	△ 3.3	35.7	10.4	15.2
純資産総額 (百万円)	236	281	156	194	258	326

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年3月11日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

参考指数は、MSCI KOKUSAI インデックス(米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

投資環境

(2022年3月10日~2023年3月9日)

当期の海外株式市場は、2022年10月半ばまでは下落基調であったものの、その後は値を戻す展開となりました。

期の初めは、米国で0.25%の利上げが行われたものの、パウエルFRB議長が強気の景気見通しを示したことを受けて安心感が広がったことなどから、上昇して始まりました。

しかしその後は、FRB高官が急速なバランスシートの縮小と利上げを示唆する発言を行ったことなどから、海外株式市場は反落しました。2022年5月の初めにFRBは0.50%の利上げを行いました。その後も、雇用統計が堅調であったことや、インフレ指標が依然として高い伸びを示したことから、金融引き締め加速への警戒感が強まり、海外株式市場は一段と下落しました。8月中旬にかけては、市場予想を上回る企業決算や市場予想を下回る物価指数の発表などから持ち直す局面もありましたが、その後は、FRB高官からの利上げの必要性を訴える相次ぐ発言や、ドイツの生産者物価指数の伸びが過去最大となったことによる金利上昇などを受けて再び下落しました。その後も、米国のCPI(消費者物価指数)の伸びが市場予想を上回ったことや、FRBが0.75%の利上げを行い、パウエルFRB議長がインフレ抑制を最優先する姿勢を改めて示したことなどから下落基調が続き、10月半ばに期中安値を付けました。

その後は、市場予想を上回る企業決算の発表や、米国のCPIが伸びの鈍化を示し利上げペースが鈍化するとの見方が広がったことなどから、海外株式市場は反発しました。12月下旬にかけては、利上げ幅が0.5%に縮小されたものの、パウエルFRB議長が金融引き締めの長期化を示唆したことなどから調整しましたが、2023年1月に入ると、発表された米雇用統計において平均時給の伸びが市場予想を下回ったことや、CPIが前月比で小幅低下しインフレ減速が示されたことから、再び上昇しました。2月初めに米国の利上げ幅が0.25%に縮小され、パウエルFRB議長がインフレの鈍化に言及すると更に上昇しました。当期末にかけては、発表された米国の物価指標が市場予想を上回る伸びを示したことなどから、調整しました。

海外株式市場は結局、前期末比では下落となりました。地域別では、米国市場は下落となりましたが、欧州市場は上昇となりました。

為替市場では、円はドルに対しても、ユーロに対しても円安となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年3月10日～2023年3月9日)

主要投資対象であるALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドは主として日本を除く世界各国の株式のうち、時価総額の大きな銘柄にグローバルな視点で投資し、値上がり益の獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。

バリューストック投資で評価の高い米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

期首に保有していた銘柄のうち当期中に全売却したものは以下のとおりです。これらは売却目標に達したか、ポートフォリオの価値を高める、より魅力的な銘柄を組入れるために売却したものです。

銘柄	投資国	業種
シティグループ	アメリカ	銀行
コムキャスト	アメリカ	メディア・娯楽
コンパス・グループ	イギリス	消費者サービス
クレディ・スイス・グループ	スイス	各種金融
フレゼニウス・メディカル・ケア	ドイツ	ヘルスケア機器・サービス
ゼネラル・ダイナミクス	アメリカ	資本財
グルポ・テレビサ	アメリカ	電気通信サービス
ハリバートン	アメリカ	エネルギー
ヒューマナ	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス
イヴェコ・グループ	イタリア	自動車・自動車部品
キューリグ・ドクターペッパー	アメリカ	食品・飲料・タバコ
ナスパース	南アフリカ	小売

(注) 業種はGICS(世界産業分類基準)に基づく24産業グループによります(以下同じです。)

一方、当期に新規に組入れを行った主な銘柄と概要は以下のとおりです。

銘柄、投資国、業種	概要
ブラック・ロック アメリカ 各種金融	機関投資家や個人投資家に各種投資商品を提供する大手資産運用会社です。
キャピタル・ワン・フィナンシャル アメリカ 各種金融	預金業務のほか、クレジットカード、投資商品、ローン、およびオンラインバンキングサービスを手掛ける商業銀行です。
コノコフィリップス アメリカ エネルギー	原油、天然ガス、液化天然ガスなどの探査、生産、輸送を行っています。
DSV デンマーク 運輸	陸上・海上・航空輸送サービスのほか、倉庫、購入注文管理、その他物流ソリューションを提供する運輸・物流会社です。
インターコンチネンタル取引所 アメリカ 各種金融	国際商品取引所や金融商品取引所を運営しています。
ケリング フランス 耐久消費財・アパレル	アパレル、レザー、アクセサリーのブランドを傘下に持つブランド・グループです。
パーカー・ハネフィン アメリカ 資本財	液体動力システム、電気機械コントローラーおよび関連部品などを製造する動力制御機器メーカーです。
セールスフォース アメリカ ソフトウェア・サービス	企業向けの顧客管理ソフトウェアの設計・開発を行っています。
ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー アメリカ メディア・娯楽	映画、テレビ、ゲームなどのコンテンツを様々なフォーマットで提供するメディア企業です。

当ファンドのベンチマークとの差異

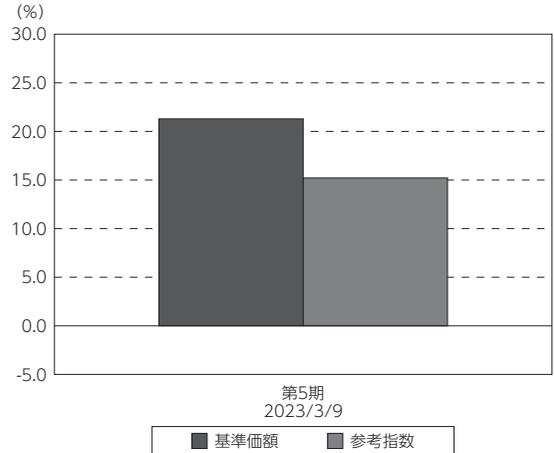
(2022年3月10日～2023年3月9日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークはありません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が期首比15.2%上昇したのに対し、基準価額は21.3%の上昇となり、参考指数を6.1%上回る結果となりました。個別銘柄選択効果がプラスに働いたことがプラスの乖離要因となりました。個別銘柄では、チャーター・コミュニケーションズ(アメリカ、メディア・娯楽)、アルファベット(クラスA)(アメリカ、メディア・娯楽)、アマゾン・ドット・コム(アメリカ、小売)などがマイナスに寄与しましたが、BNPパリバ(フランス、銀行)、プロサス(オランダ、小売)、メルセデス・ベンツ・グループ(ドイツ、自動車・自動車部品)などがプラスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込み(税込み)です。

(注) 参考指数は、MSCI KOKUSAIインデックス(米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

分配金

(2022年3月10日～2023年3月9日)

当期の分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準などを勘案して、見送らせていただきます。

なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第5期
	2022年3月10日～ 2023年3月9日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,345

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドへの投資により、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。ハリス・アソシエイツ社では、独自の集中したファンダメンタルズ調査に基づき、企業の持つ本来価値から相当割安な価格で取引されていて、かつ経営陣が実質オーナーとしての自覚を持って行動しているような企業を探し出して投資します。ポートフォリオは、厳格な基準に基づいて絞り込まれ、構築され、モニタリングされています。どのような市場環境においても、投資は長期的な視野に立ち、常に優れたリターンを得ることを目的に行われます。今後とも徹底したバリュー哲学に基づいてポートフォリオの運用を続けてまいります。ハリス・アソシエイツ社では、ポートフォリオは引き続き投資魅力度の高い銘柄で構成されており、長期的に優れたリターンをご提供できるものと考えています。

お知らせ

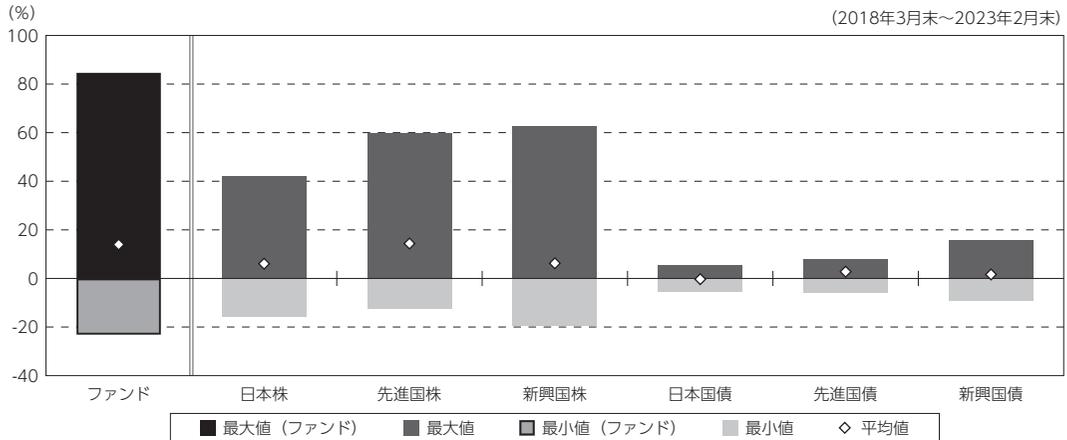
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として、日本を除く世界各国の株式のうち、時価総額の大きな銘柄にグローバルな視点で投資し、値上がり益の獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ハリス世界株ファンド (資産成長型)	ALAMCO ハリス グローバル バリュー株マザーファンド受益証券
	ALAMCO ハリス グローバル バリュー株マザーファンド	日本を除く世界各国の株式
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、日本を除く世界各国の株式のうち、時価総額の大きな銘柄にグローバルな視点で投資し、値上がり益の獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。バリュー株投資で評価の高い米ハリス・アソシエイツ社に運用を委託します。対円での為替ヘッジは、原則として行いません。	
分配方針	毎決算時(3月9日。休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。収益分配金額の決定にあたっては、複利効果による信託財産の成長を目指すため、原則として分配を極力抑制する方針とします。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)	

(参考情報)

○ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	84.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 23.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	14.0	6.1	14.4	6.2	△ 0.3	2.8	1.6

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年3月から2023年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、ファンドについては設定日が2018年6月26日であるため2019年6月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年3月9日現在)

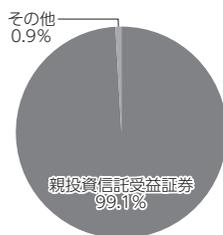
○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド	99.1%
組入銘柄数	1銘柄

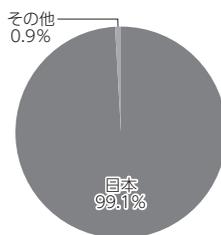
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

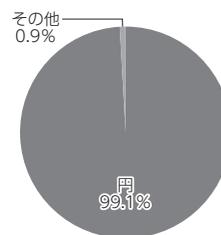
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

純資産等

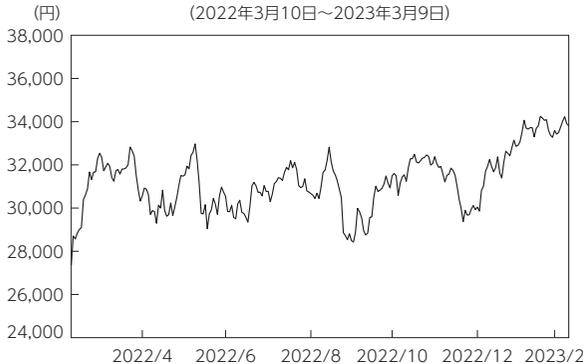
項目	第5期末	
	2023年3月9日	
純資産総額	326,142,992円	
受益権総口数	212,529,163口	
1万口当たり基準価額	15,346円	

(注) 期中における追加設定元本額は61,126,477円、同解約元本額は52,644,670円です。

組入上位ファンドの概要

ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月10日～2023年3月9日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	8 (8)	0.024 (0.024)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	5 (5)	0.015 (0.015)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	13 (13) (0)	0.042 (0.041) (0.001)
合 計	26	0.081

期中の平均基準価額は、31,244円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

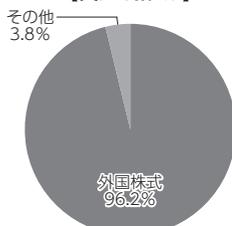
【組入上位10銘柄】

(2023年3月9日現在)

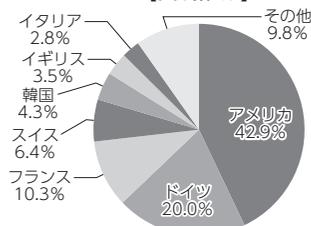
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	5.1%
2	MERCEDES-BENZ GROUP AG	自動車・自動車部品	ユーロ	ドイツ	4.3
3	BNP PARIBAS	銀行	ユーロ	フランス	3.9
4	AMAZON.COM INC	小売	米ドル	アメリカ	3.5
5	SALESFORCE INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.5
6	FISERV INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.5
7	ALLIANZ SE	保険	ユーロ	ドイツ	3.2
8	BAYER AG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ユーロ	ドイツ	3.2
9	JULIUS BAER GROUP LTD	各種金融	スイスフラン	スイス	3.0
10	CHARTER COMMUNICATIONS INC	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	2.9
	組入銘柄数		44銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

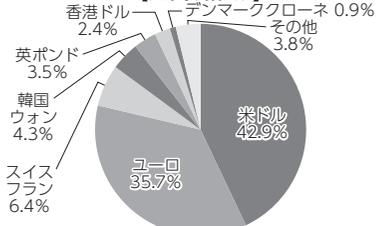
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として投資国(地域)を表示しております。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。